



畿内／南海道／北海道編（七ヶ国）

鳳凰山 神野良英

本誌二〇二三年六月号にて「小さな完集」と題し、一地域（四国）に絞った「一藩一枚」

の完集報告をさせていただいたところ、複数の方から「このまま一気に全国を縦断しちゃいよいよ！」といったお話をいただきました。

もちろん、即「却下！」との裁定を下したわけですが、「一藩一枚」からハードルを下げ「一国一枚」（前回の提示札のように……）としたところ、これならば自分にもできるかもしれないと感じ、藩札と気軽に向き合うにはよい「収集目標」になるのではないかと改めてご提案させていただきました（自分が実践できそうにもないことを皆様にお薦めするわけにもいきませんから……）。

なお、「国」の分け方や藩名（これが難問）については各論もあると思いますが、まずは『日本古紙幣類鑑』に準拠させていただき、五畿七道に分けて取り上げてみたいと思います。

誌面の都合上（国数）、多少順序がバラバラになっってしまうことをご了承ください。

五畿七道（五畿八道）

畿内／南海道／北海道（七ヶ国）

・山城・大和・河内・和泉・摂津／紀伊／蝦夷

東海道（二ヶ国）

・伊勢・志摩・尾張・三河・遠江・相模・武蔵

・安房・上総・下総・常陸

東山道（二三ヶ国）

・近江・美濃・飛騨・信濃・上野・下野・羽前

・羽後・岩代・磐城・陸前・陸中・陸奥

山陰道（六ヶ国）

・丹波・丹後・但馬・因幡・出雲・石見

山陽道（八ヶ国）

・播磨・美作・備前・備中・備後・安芸・長門

・周防

北陸道（五ヶ国）

・若狭・越前・加賀・越中・越後

西海道（九ヶ国）

・筑前・筑後・豊前・豊後・肥前・肥後・日向

・薩摩・対馬

それではさっそく畿内／南海道／北海道（計七ヶ国）の藩札を見ていきたいと思います（南海道のうち、四国地域は除外しています）。

〔山城〕（畿内）

●澁藩

・銭五百文（澁藩）【300】①

「山城」は澁藩札のみで、選択の余地もないのですが、提示札には「大蔵省印」のエラー札（「四銭八厘」押印）を選んでみました。

ちなみに、この「山城」のように「一国一藩」のところは「一国一枚」の収集でも難関の地域となってしまうことが多いのですが、厄介なことはいくつかの地域で見られるのです……

〔大和〕（畿内）

●柳生藩 ○郡山藩 ○小泉藩 ○田原本藩

○芝村藩 ○高取藩 ○柳本藩 ○櫛羅藩

・銭百文（柳生藩）【600】②

「大和」は多くの藩札（八藩）が存在する地

①山城・瀬藩 錢五百文



[300]



(法量 14.6×4.6 cm)

②大和・柳生藩 錢百文



[600]



(法量 11.1×3.4 cm)

③河内・狭山藩 錢貳百文



[401]



(法量 15.3×4.2 cm)

④和泉・伯太藩 銀壹匁



[501]



(法量 19.5×4.9 cm)